

## TOPICS

## テレビ会議システムによる 依頼試験の対応

—新型コロナウイルス対策としての試験結果の共有—

電子情報部 吉村慶之(よしむら よしゆき)

yyoshi@irii.jp

専門：電磁波計測、環境電磁工学  
一言：ICTを有効に活用して業務の  
効率化を図ります。



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され、全国的に不要不急の外出自粛が要請されました。石川県では令和2年5月14日に解除されましたが、第2波の影響を避けるため、引き続き3密を防止する必要があります。そこで、工業試験場ではテレビ会議システムを用いたサービスの提供を試みています。

ここでは、緊急事態宣言期間中に、県内企業の担当の方とテレビ会議を通して試行した依頼試験(X線透過試験)を紹介します(図1)。

- ①電話、あるいはメールにて希望する試験が可能かどうか問い合わせ(企業)
- ②試験依頼書、試料等の送付(企業)
- ③テレビ会議システムにより、試料を確認しながら、撮像位置・方向、縮尺等の打ち合わせ(図2)(企業、工業試験場)
- ④試験の実施(工業試験場)

⑤情報共有機能による試験結果の確認(図3)、必要に応じて再試験(企業、工業試験場)

⑥成績書の発行(工業試験場)

工業試験場では、X線透過試験だけではなく、高性能X線光電子分光分析、環境試験等、さまざまな依頼試験に対し、テレビ会議システムによる試験の提供を試みています。また、依頼試験の他、共同研究の打ち合わせ、技術相談にもテレビ会議システムを活用しており、遠方の企業の方へもサービスを提供することが可能です。ぜひご利用ください。

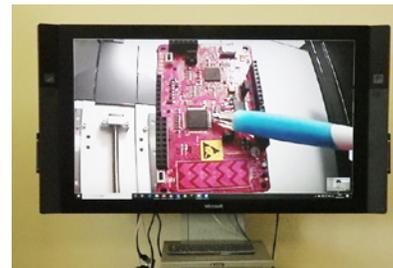


図2 テレビ会議による電子部品の撮像位置の確認



図3 情報共有機能による電子部品内部の不良チェック



図1 テレビ会議システムを用いた依頼試験の流れ